

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

No. 54

2014年7月

平成26年度通常総会

役員紹介

工業倶楽部委員会

事務局からのお知らせ

新会員情報

会員企業広告

「株式会社コレクトプラン」

「大協株式会社」

平成
26
年度

公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部通常総会

日時 平成26年5月23日(金) 会場 城山観光ホテル(ロイヤルガーデン 2F)

平成26年5月23日(金)、城山観光ホテル2階のロイヤルガーデンに於いて、多数の来賓ご臨席のもと、平成26年度通常総会が開催されました。平成25年度事業報告及び決算の承認、26年度事業計画等の報告を行うとともに、特に、今年度は任期満了に伴う役員改選がありました。理事及び監事の選任を行い、会長に岩元正孝氏(再任)、副会長に、横山勝一氏(再任)、竹田靖史氏(新任)、弓場秋信氏(新任)、本村嘉啓氏(再任)が選任されました。

◆ 会長挨拶 ◆

(公社)鹿児島県工業倶楽部
会長 岩元 正孝



昨今のニュースを聞いておられますと、中国情勢やウクライナ情勢など、世界情勢は大変混沌としております。また、市場の東南アジアソフトなど、鹿児島も国内外の情勢の変化に対応していくには、先ず地域の充実に向けて、一生懸命努力していかなければいけないと考えています。

地域が自立するためにはその地域で付加価値をつけないといけません。より付加価値を付けるための入りやすい方法は、その地域でモノを作ることです。鹿児島県でモノを作るという話になりますと、まず一番に農業の名前が挙がってきます。鹿児島県の場合単純に農業ということではなくて、例えば農業と畜産でモノをつくる。モノを作ることになりますと農業、畜産に合わせて工業もあります。

農業と、工業のモノ作りの付加価値の差についてですが、例えば稲

作の場合通常年一回の収穫です。豚や牛の生産は数か月かかって一回出荷できます。では、工業の場合、私の会社の例で言いますと、原料を装置に入れて、2時間半経つと製品が出てきます。農業や畜産の付加価値が仮に粗利益が90%あるとすれば、うちが2時間半で製品を作るということと、90%の100分の1、粗利が0.9%でバランスするのかもしれないです。この例から考えますと、農業以外に工業をやるすべがあれば、工業に力を入れるほうが、その地域にとっては付加価値を増やすということになると思います。

もちろん、農業のコンスタント性、工業の非常に波が大きいということを考えますと、いずれ一方に偏るといのは非常に危険なんでしょうが、鹿児島県の将来を考えるについても、農業、畜産というだけではなく付加価値の点から考えますと、是非工業についても配慮していくことが、その地域の自立に役に立つのだらうと思います。

本日は記念公演で古賀光男さんにお話をさせていただきます。古賀さんは大変辛口のコメントを下さる方と理解しております。成長する方は大変辛口の言葉を素直に受け止めて、それを実施していかれるからだと思います。是非皆さんと一緒に古賀さんの辛口のコメントを頂きながら、明日の鹿児島県、鹿児島県の工業について考えてみたいと思います。

◆ 来賓挨拶 ◆

国立大学法人鹿児島大学
学長 前田 芳實氏



鹿児島県工業倶楽部と鹿児島大学の協力関係は深く、平成17年10月に包括連携協力協定を締結し、産学交流の企画・実施と学生支援で連携を深めさせて頂いております。平成23年から共同で開催している「食と健康に関するシンポジウム」は本学の重点研究領域であります。お陰さまで、毎回多くの市民にご来場頂き、好評を博しております。

また、昨年は工業倶楽部の「ものづくり元気おこし交流事業」に本学の2名の教員が参加し、新しいものづくりの契機とする議論を深めているところです。

学生支援につきましては地域に貢献する研究業績を挙げた大学院生に授与されている「鹿児島大学工業倶楽部賞」が学生の大きな励

みになっております。今後は、教育における産学官連携活動にも、取り組みたいと考えております。地域の活性化に役立つ人材に育てるためには、学生を地域の中で教育することが重要です。地域や産業会にもメリットのある教育制度やインターンシップ等を推進して参りますので、ご協力を頂ければ幸いです。

鹿児島大学は現在9学部10の大学院研究科からなりまして、約11,000名の学生が在籍する総合大学になりました。大学の基本方針としまして、「進取の気風あふれる総合大学」を目指しております。そしてその中で地域再生の核となる大学を目指して新たな体制作りを今、進めているところでございます。

特に地域の課題としましては、「島嶼・環境・食と健康・エネルギー・水」この5つの領域に重点を置きまして、地域社会と連携して課題解決を目指す研究を積極的に推進することを本学の使命と致しております。本学には約1,000名を超える研究者がおります。共同研究や技術相談だけでなく、経営課題や地域の活性化など様々な事柄での相談などお気軽にお出かけ下さい。産学官連携推進センターを中心に、体制を整えてお待ちしております。



◆ 来賓挨拶 ◆

鹿児島県商工労働水産部
部長 田中 和彦氏



本日は、公益社団法人鹿児島県工業倶楽部の通常総会が盛大に開催されることをお慶び申し上げます。工業倶楽部の会員を始め、ご出席の皆様は日頃から県政の推進に多大なご支援ご協力を頂いておりますこと、心からお礼申し上げます。

我が国の経済は、消費税率の引き上げがありました、何とか冷静に乗り越えた感がします。今後の見通しも経済の緩やかな回復が期待をされています。本県におきましても、雇用環境は国と比べますと、若干下回っておりますがリーマンショック前を超える状況になってお

り、雇用環境の緩やかな回復が期待をされているところです。

このようななか鹿児島県では、新時代に対応した戦略的な産業興しを県政の柱の一つとして位置付けており、景気や雇用の回復に努め、活力ある地域経済を構築して参りたいと考えております。具体的施策として、昨年度に引き続き、中小製造業者の創業や新技術の開発、あるいは新分野への進出、規模拡大など、設備投資も含めて一貫した支援を実施して参ります。

また、今年度から新たに「食品関連産業振興プロジェクト」に取り組むこととしております。具体的には、県内食品関連企業が行う商品開発や、新市場の開拓、食品衛生管理等の認証取得などの高付加価値化への取り組みなどを支援するとともに、経営力の強化、人材の確保、資金調達の円滑化などの施策に集中的に取り組むこととしております。

今後とも皆様方が日頃から取り組んでおられる活動や、実践を通じた貴重なご意見を参考にしながら、本県の産業施策に反映させていきたいと考えております。

通常総会 講演会

ベンチャープラザ鹿児島二水会で、長年にわたり鹿児島の企業のビジネスプランの指導に携わり、県内製造業の経営・販売戦略に大変造詣の深い古賀社長から、様々な角度からのお話をいただき、会員企業を始め参加者の皆様から好評を博しました。



演題

鹿児島の製造業成長のための対策

— 営業力強化、新商品開発、人材育成、事業多角化、経営者のやる気等々 —

講師

古賀マネージメント総研株式会社 代表取締役 古賀 光雄氏

講演内容

- グローバルな時代に生き残るには
- 新規事業との付き合い方
- 成功したベンチャー企業に学ぶ 他
- 今のビジネスモデルでは生き残れない
- 働がいのある企業が生き残る



役員紹介

種別	氏名	所属・役職
会長	岩元 正孝	カクイ(株) 代表取締役社長
副会長	横山 勝一	大協(株) 代表取締役
	竹田 靖史	鹿児島大学名誉教授
	弓場 秋信	弓場貿易(株) 代表取締役社長
	本村 嘉啓	南日汽缶工業(株) 代表取締役社長
理事	山口 堅二	アルバック九州(株) 常務取締役 【新】
	有村 佳子	(株)指宿ロイヤルホテル 代表取締役会長
	上田平 重樹	インターマン(株) 代表取締役社長
	満石 公一	(株)栄電社 代表取締役
	橋口 嘉平	(株)エム・エム・シー 代表取締役社長
	佐々木 一朗	かねだい食品(株) 常務取締役
	桑野 正敬	(株)九州タプチ 代表取締役会長
	野元 浩一郎	京セラ(株)鹿児島国分 工場長
	神園 俊一	(株)コレクトプラン 代表取締役
	坂元 昭夫	坂元醸造(株) 代表取締役会長
監事	餅田 淳一	餅田淳一税理士事務所 代表

種別	氏名	所属・役職
理事	小田 正弘	(株)仙夢 代表取締役
	鮫島 吉廣	鹿児島大学客員教授 【新】
	竹之下 敏	(株)トヨタ車体研究所 執行役員 【新】
	木村 由美子	ドリーきかく(有) 代表取締役
	本坊 治國	日本澱粉工業(株) 代表取締役会長
	濱田 雄一郎	濱田酒造(株) 代表取締役社長
	林 隆秀	林建設(株) 代表取締役
	久永 修平	久永情報マネジメント(株) 代表取締役社長
	森重 匡世	(株)フォーエム 代表取締役
	藤崎 茂実	藤崎商事(株) 代表取締役
	板山 孝司	(有)マチダ商事 代表取締役社長
	益留 福一	マトヤ技研工業(株) 代表取締役
	松下 謙一	(株)丸松 代表取締役社長
	岩重 昌勝	(協)ユニカラー 理事長
	堀内 明人	(株)リサーチアンドデザイン 代表取締役 【新】
監事	種子田 秀樹	鹿児島相互信用金庫本部 法人営業課長 【新】

※【新】は新任理事、新任監事です。

4つの委員会活動を活発化し、工業倶楽部の活動活性化に努めましょう。(各委員会委員については、昨年の希望調べに基づき割り振りました)

1 総務・広報委員会 (◎印は委員長)

◎横山勝一(大協(株)代表取締役)、板山孝司((有)マチダ商事 代表取締役社長)、上田平茂樹(インターマン(株)代表取締役社長)、神蘭 俊一((株)コレクトプラン代表取締役)、木村由美子(ドリーさかく(有)代表取締役)、黒瀬廣幸((株)トライ社営業部)、林隆秀(林建設(株)代表取締役)、橋口嘉平((株)エム・エム・シー代表取締役社長)、松下謙一((株)丸松 代表取締役社長)、松崎洋一郎((協)ユニカラー 常務理事)、山之氏秀行(鹿児島酸素(株)取締役会長)

- (総務・広報委員会の業務):業務総括、提言、広報活動に関すること
- ・各種会議、工業倶楽部のイメージアップ促進
- ・会報の発行など
- ・その他、他の委員会の所管に属さないこと

2 渉外委員会 (◎印は委員長)

◎竹田靖史(鹿児島大学名誉教授)、若重昌勝((協)ユニカラー理事長)、小田正弘((株)仙夢代表取締役社長)、鯨島吉廣(鹿児島大学客員教授)、中田博基((有)辻産業代表取締役)、野元浩一郎(京セラ(株)鹿児島国分工場工場長)、本坊治國(日本澱粉工業(株)代表取締役会長)、堀内明人((株)リサーチアンドデザイン代表取締役)、満石公一((株)栄電社代表取締役)、山口堅二(アルバック九州(株)常務取締役)

- (渉外委員会の業務):他の団体、組織等との交流に関すること
- ・大学、行政、海外、各種公的団体、県外類似団体等との交流・連携等

3 事業委員会 (◎印は委員長)

◎弓場秋信(弓場貿易(株)代表取締役社長)、有村佳子((株)指宿ロイヤルホテル代表取締役会長)、桑野正敏((株)九州タプチ代表取締役会長)、桑原義和(桑原税理士事務所 所長)、佐々木一朗(かねだい食品(株)常務取締役)、嶋田正文(小鹿酒造(株)代表取締役社長)、竹之下 敏((株)トヨタ車体研究所 執行役員)、寺田信義(九州農林開発(株)代表取締役会長)、濱田雄一郎(濱田酒造(株)代表取締役社長)藤崎茂実(藤崎商事(株)代表取締役)、宝来豊晴(宝来メデック(株)代表取締役社長)益留福一(マトヤ技研工業(株)代表取締役)、森田 博((有)ハマステムビジョン代表取締役)、吉玉和生(吉玉精鍍(株)代表取締役専務)

- (事業委員会の業務):基本事業の推進に関すること
- ・進出企業との交流、各種大会、プラザ等会員間の異業種交流活性化等

4 特命委員会 (◎印は委員長)

◎本村嘉啓(南日汽缶工業(株)代表取締役)、鳥野ユリ子、岡 秀実((株)下堂園専務取締役)、川崎暢義(日本有機(株)代表取締役会長)、坂元昭夫(坂元醸造(株)代表取締役会長)、竹之内俊夫(竹之内穀類産業(株)代表取締役社長)、遠矢良太郎(鹿児島大学産学官連携コーディネーター)、久永修平(久永情報マネージメント(株)代表取締役社長)、森重匡世((株)フォーエム 代表取締役)、山下博美((株)鹿児島頭脳センター専務取締役)、

- (特命委員会の業務):臨時に取り組む事業の推進に関すること
- ・各種補助事業や委託事業等
- ・食と健康に関するシンポジウム等

来春の採用枠拡大について

鹿児島労働局、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市から、来春の新卒者に係る採用枠を拡大してほしい旨の要請がありました。以下、工業倶楽部へお見えになった方々と要請日です。

●7月1日(火)

- ・鹿児島労働局(岩崎修局長)
- ・鹿児島県(田中和彦商工労働水産部長)
- ・鹿児島県教育委員会(六反省一教育長)
- ・鹿児島市(図師俊彦経済局経済振興部長)
- (応対者:横山勝一副会長)

●7月28日(月)

- ・鹿児島県PTA連合会
- ・鹿児島県連合校長会
- (応対者:若元正孝会長)

事務局からのお知らせ



新会員情報

■会員名

中越パルプ工業株式会社

■代表取締役
加藤 明美



- 住 所 〒933-8533 富山県高岡市米島282
- T E L 0766-26-2472
- F A X 0766-26-2454
- 業種等 紙・パルプ製造および販売

優れた「紙製品」の開発と安定供給を通じて経済・社会・文化の発展に寄与することを社会的使命に、今日まで歩んでまいりました。

竹林の多い薩摩川内市に工場を持つ当社は、地域貢献の一環として1998年より間伐された国産竹の有効活用の取り組みを始め、現在では年間2万トンを超える竹の集荷体制を整え、2009年には国産竹100%の紙の製造販売を始めました。現在は竹の付加価値をより高める「ナノセルロース」製品の開発を行っています。

今後も愛され信頼される企業を目指した活動を継続してまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■会員名

アルバック九州株式会社

■代表取締役社長
池田 和夫



- 住 所 〒899-6301 霧島市横川町上ノ 3313-1
- T E L 0995-72-1114
- F A X 0995-40-2661
- 業種等 真空関連装置・機器・材料の製造

当社は、九州の地で37年もの間、真空業界で液晶、半導体、電子機器、産業機器分野等において、真空関連装置、真空ポンプ、真空バルブ、材料等の製造を行っており、全世界(特にアジア地区)に向けて出荷しています。

当社は、長年培った真空技術を活かし、常にお客様の視点で、「ものづくり」を行い続ける事が、市場価値向上に繋がると考えております。

「ものづくり」を基に、この鹿児島の地で地域に貢献出来る新たな事業展開の模索を進めている中で、鹿児島県工業倶楽部へ入会させて頂きました。

真空技術は、さまざまな分野において商品価値を上げる可能性を持っており、鹿児島県工業倶楽部の一員として、会員の皆様と共に鹿児島県の発展に寄与出来ればと考えております。今後共、よろしくお願致します。

■会員名

下川 秀一

■所属・役職

九州ミャンマー友好協会
鹿児島支部事務局長



- 住 所 〒890-0042 鹿児島市薬師2-5-5
- T E L 090-8762-2694
- F A X 099-250-3806

私は、平成22年に一般社団法人九州ミャンマー友好協会の立ち上げに参加し、現在は鹿児島支部事務局長を務めております。当法人は九州とミャンマーの民間文化経済福祉交流により、相互の友好と親善関係を確立することを目的としています。各関係機関にご協力頂き、ミャンマーとの橋渡しが出来ればと願っております。

この度、鹿児島工業倶楽部の個人会員として入会させて頂くことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

おくやみ情報を無料閲覧！

喪主様一名なら千円(税別)で掲載できます。

鹿児島県 IT・コンテンツ産業起業等支援事業

おくやみ情報を必要としている方や、訃報連絡にお困りのご遺族様にインターネットを通じて、広く迅速に情報を発信するサービスを提供しています。

[一覧表示ページ]



[詳細表示ページ]



全国発信

パソコンや携帯電話などのモバイル端末があれば、いつでもどこでもおくやみ情報を掲載・入手できます。

閲覧無料

通夜情報や葬儀情報、葬儀場会館地図などの全ての情報を無料で閲覧できます。供花もネット経由で可能、立札お名前の指定もできます。

掲載千円

おくやみ情報をインターネット経由で簡単に掲載する事ができ、喪主様一名での掲載料金は千円(税別)のみとなります。パソコン等が苦手な方は、代筆 FAX いたしますので葬儀社様が当社へご相談下さい。

【おくやみ情報掲載方法】

A ご遺族様ご自身で FAX 掲載・・・WEB サイトから申込書をダウンロードし、記入後 FAX ください。

おくやみ情報 FAX 申込書

ご遺族様

- 1 掲載依頼
- 2 金額を連絡
- 3 銀行振込

事務局
運営：コレクトプラン

- 5 掲載
- 4 事実確認

葬儀社様

B インターネットで直接入力することも可能です。

C 葬儀社様へ依頼して掲載する事も可能です。

鹿児島県 IT・コンテンツ産業起業等支援事業

おくやみ情報鹿児島

<http://okuyami.or.jp/kagoshima/>

鹿児島のお悔やみ情報を掲載しています

おくやみ情報鹿児島

携帯サイトはこちら

株式会社 コレクトプラン

おくやみ情報プロジェクト推進本部

鹿児島市名山町 9-15 ソフトプラザかごしま 5F Tel: 099-219-1940 Fax: 099-833-3060 E-mail: ad@okuyami.or.jp

エアタイトJ-1耐震補強工法

耐震補強用高強度アラミド繊維FRP複合ライニング

画期的な技術が開発されました!
耐震補強・高強度防水防食に
すぐれた、エアタイトっていうの🐾



なにに？

うーん
耐震補強には
金が掛かる。
困ったにゃん



/うーん、これだ！\

耐震補強とFRPライニングの複合

- ◆水道用コンクリート水槽の内面に使用されているFRPライニング材と、アラミド繊維を複合した耐震補強工法です。
- ◆構造物の強度補強とじん性補強に効果があります。
- ◆高強度のアラミド繊維を貼り付け、FRPライニング防水防食層を被覆します。

水質安全性

- ◆日本水道協会JWWA-K-149適合
コンクリート水槽内面に施すFRPライニング材の規格に適合しています。

お問い合わせは下記まで



ダイ キョウ
大協株式会社

本社 / 〒899-2704 鹿児島市春山町461番地

TEL : 099-278-7650 (代)

IP電話 : 050-3441-0521 FAX: 278-7651

支店 / 東京・熊本 出張所 / 沖永良部

<http://www.mizu-daikyo.jp> E-mail: info@mizu-daikyo.jp

これで安心

